

マックスバリュ北海道株式会社

2019年2月期 決算説明会

1, 決算概要

2, 2018年度の取り組み

3, 2019年度の取り組み

4, 2019年度の見通し

■ 決算概要 【損益計算書】

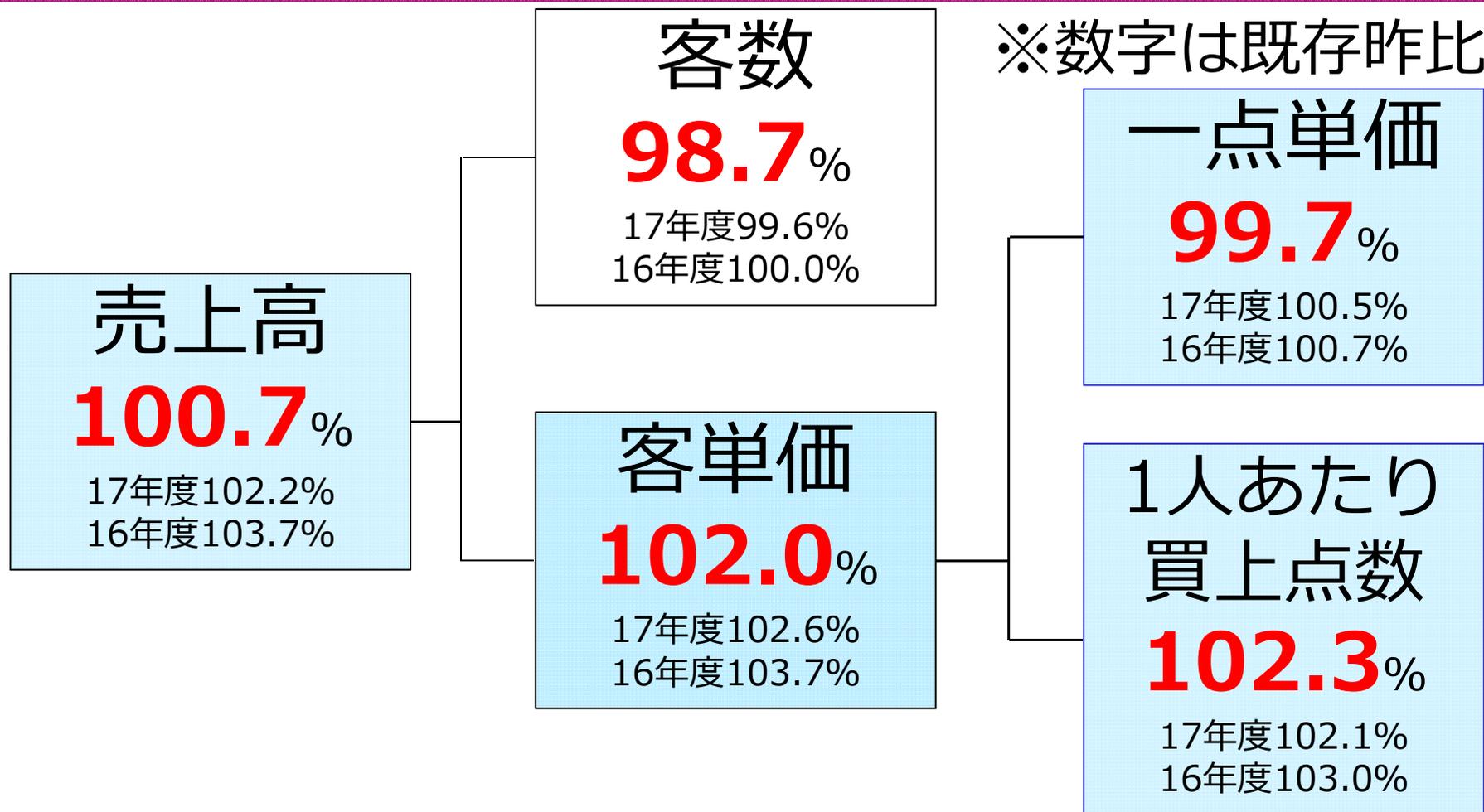


単位：百万円

	2017年度 実績	2018年度 公表数値	2018年度 実績	前年同期比	公表比
営業収益	125,951	132,800	129,281	102.6%	97.4%
営業利益	1,223	1,300	1,336	109.2%	102.8%
経常利益	1,222	1,300	1,352	110.7%	104.1%
当期純利益	492	500	453	91.9%	90.6%

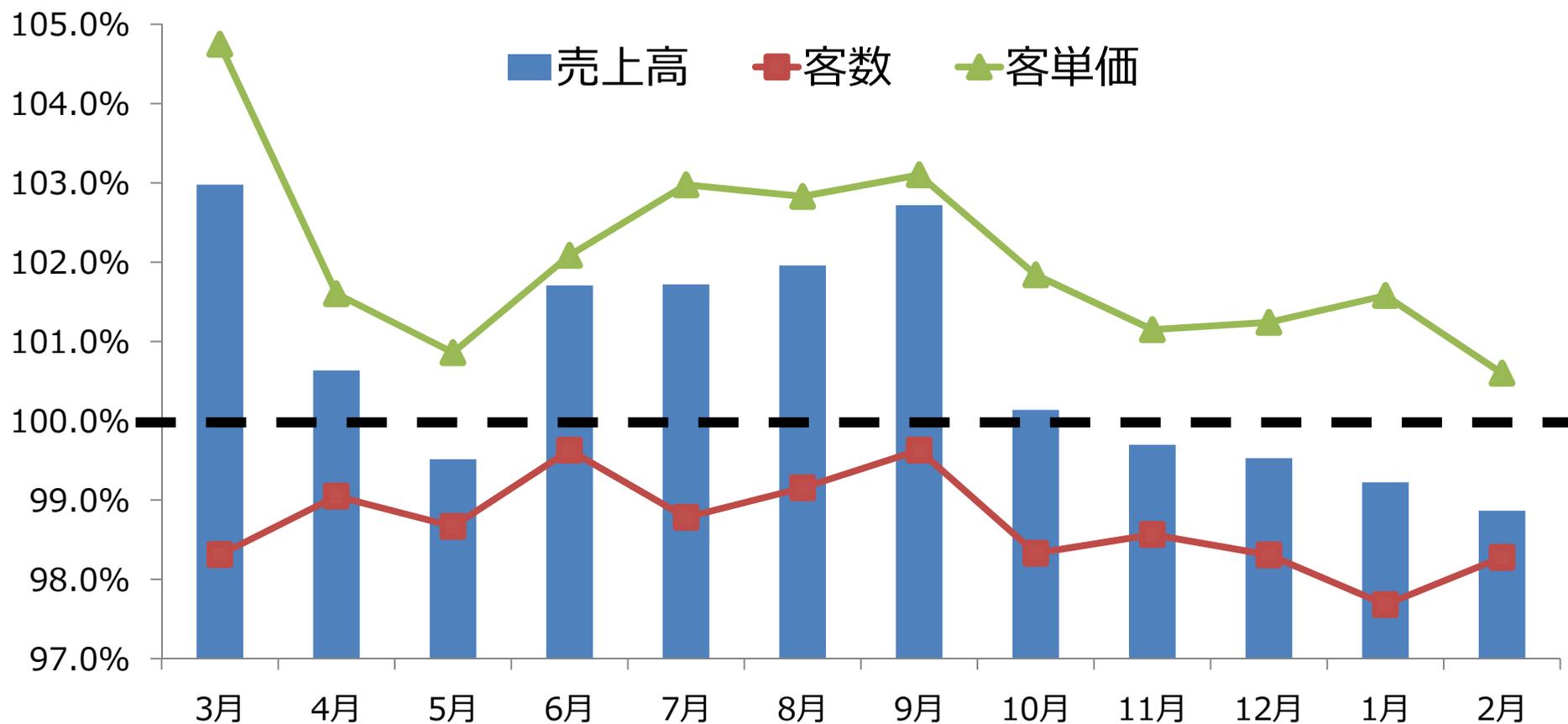
営業収益は、変則決算の影響を除くと **9** 期連続増収。営業利益、経常利益は増収に加え売上総利益率改善し増益。

■ 決算概要【既存昨比の動向】



売上高既存昨比伸長。買上点数増により客単価上昇。
 一点単価減は、高購入頻度商品の価格政策の結果。

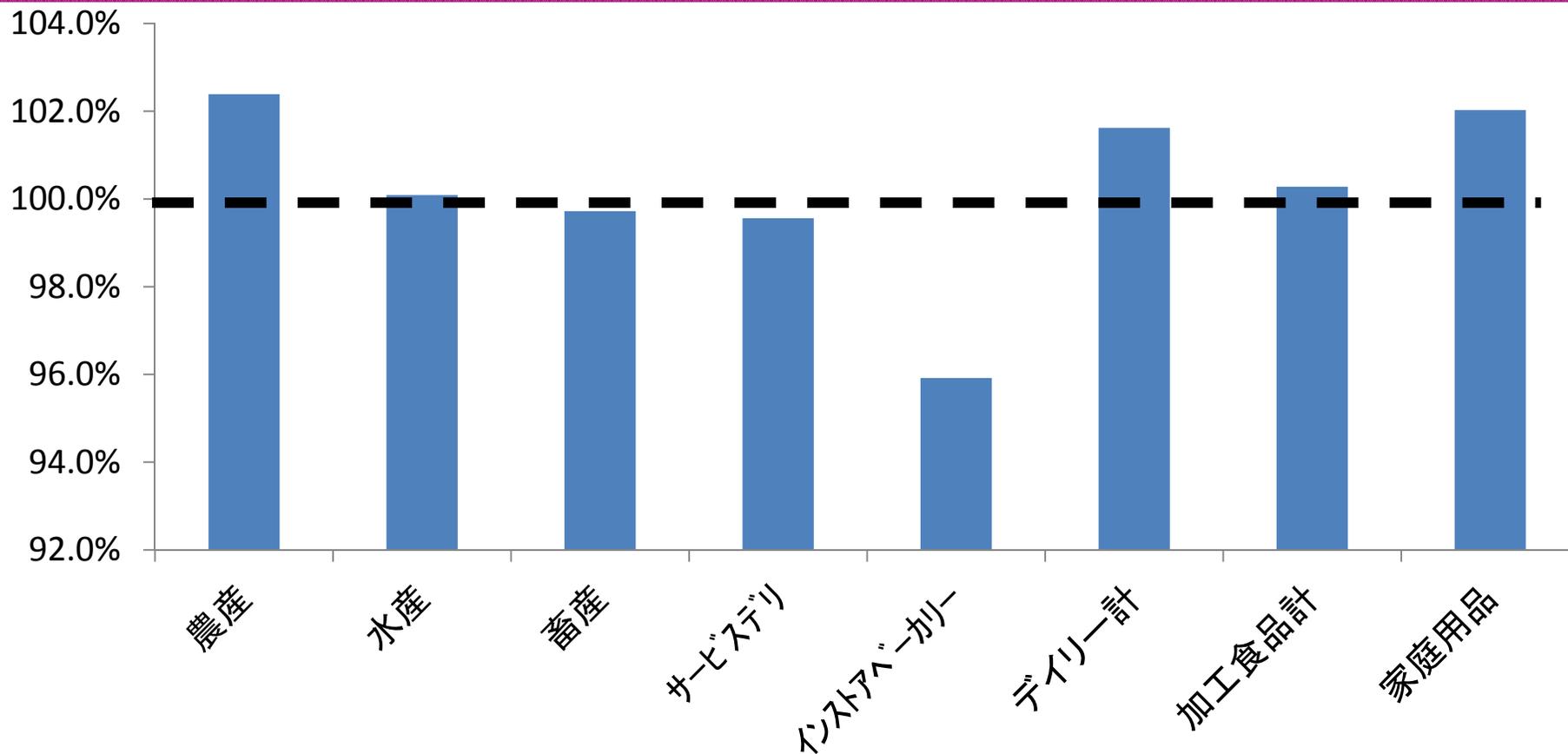
■ 決算概要 【月毎の既存昨比推移】



3月は野菜相場高の中での価格政策が奏功。
 9月震災発生。カップ麺、飲料、乾電池などが需要急増。
 11月から売上高既存昨比割れ続く。客数減が課題。

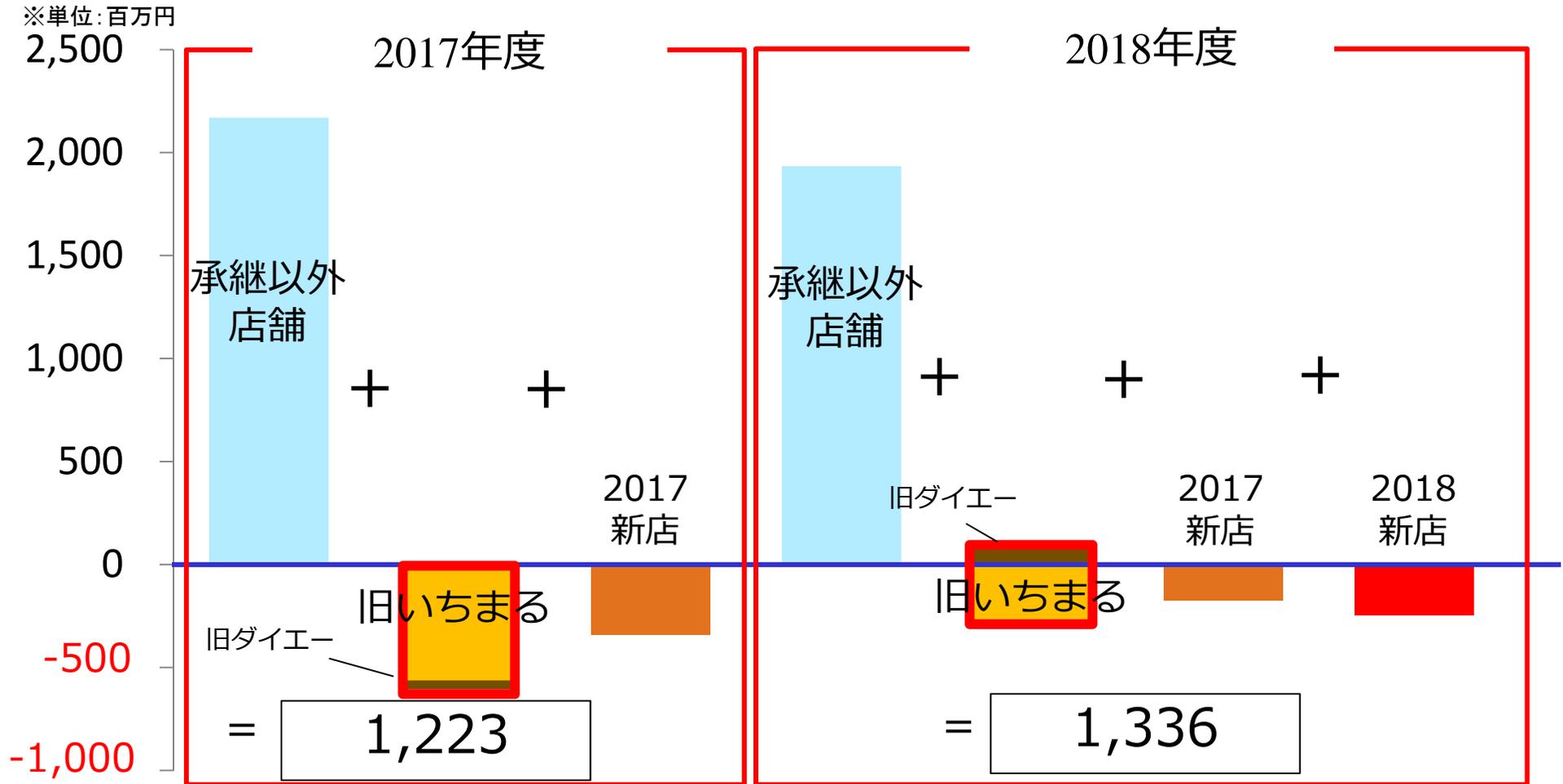


■ 決算概要【グループ別売上高既存昨比】



農産 : 高購入頻度商品売込みにより伸長。
デイリー : 健康志向の強まりにより、関連商品好調。
 納豆、豆腐、梅干などが年間通じて伸長。
家庭用品 : 9月以降乾電池、コンロなどの需要増加。

■ 決算概要【営業利益の構成】



旧ダイエー店舗黒字に転じ、旧いちまる店舗も利益改善。既存店舗の営業利益減が課題。



2018年度の取り組み

■ 2018年度の取り組み



2店舗新規出店【札幌市内に都市型店舗】



- オープンキッチン
- 簡便、健康ニーズに即した商品拡充



■ 2018年度の取り組み



2店舗新規出店【札幌市内に都市型店舗】



イートインコーナー充実
約90席設置。パン、デリ
カの売上向上に寄与。
イベントにも活用。



■ 2018年度の取り組み



大型改装【6店舗】

※改装後翌月～2月末の昨比

6店舗計 売上高昨比**111.9%** 客数昨比**108.1%**

商圈特性に応じた品揃え



デリカ拡充



冷凍食品拡充



最新什器



地場商品の品揃え



「健康」「美容」
意識商品拡充



売場ケース一新



商品力の強化

野菜鮮度向上（今朝採れ野菜）



昨年28店舗、本年**35**店舗
天候不順のため、目標の40店舗は未達。



物流変更に伴う鮮度改善



リードタイムが明確になった

P Bの売込み

PB構成比は昨年同期より
+**0.6**%。リニューアル後の
売込み奏功。

■ 2018年度の取り組み



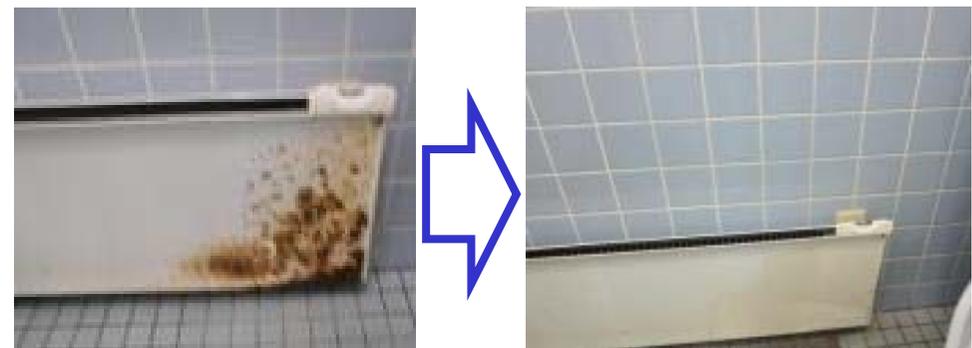
営業力の強化

デジタル施策



割引クーポンやチラシをデジタル配信。会員数は月ごとに増加。効果が出てきている。

基本の徹底



- ・接客：全店店長が参加する会議で取り組み内容を発表。好事例を共有
- ・クリンリネス：汚れ、破損箇所を把握し、各店舗で対応。18年度は全店で**748**箇所改善。



生産性向上の取り組み

作業軽減什器の導入推進

※数字は導入店舗数



自動検温【24店舗】



スライド棚【15店舗】



2段平台【DS全18店舗。
順次SM店舗に導入】

アウトパック比率向上



デリカG
37.8%
⇒**38.5%**

- I S B母店配送、自動発注
⇒準備に時間を要し、2019年度に
ずれ込み
- お支払いセルフレジ拡大
⇒2店舗導入。24店舗に導入済

2019年度の取り組み

I 成長戦略

- ・新規出店【函館市に2店舗出店予定】
- ・店舗活性化の進化
- ・経営統合に向けた準備

II 成長を支える商品力・営業力の変革

- ・商品力の強化【鮮度向上の取り組み、節約志向への対応継続】
- ・営業力の強化【集客力向上、生産性の向上】

III 人材確保と育成

- ・ダイバーシティの推進【女性活躍、障がい者雇用比率アップ°】
- ・既成の採用枠の見直し【外国人技能実習制度の活用】

■ 2020年2月期 業績見通し



単位：百万円	2019年 2月期実績	2020年 2月期予想	前期比 (%)
営業収益	129,281	134,200	103.8
営業利益	1,336	1,650	123.5
経常利益	1,352	1,650	122.0
当期純利益	453	750	165.5
1株当たり 当期純利益（円）	65.58	108.51	



【 I Rに関するお問い合わせ先 】



経営企画部

TEL : 0 1 1 - 6 3 1 - 5 1 9 2

<http://www.mv-hokkaido.co.jp>

この資料は情報提供を目的としたものであり、投資判断、あるいは投資の勧誘等を目的としたものではありません。
この資料の作成に当っては、現在において可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る現在における仮定を前提としております。

参考資料

参考資料 業績の推移



営業収益

単位：百万円



営業利益

単位：百万円



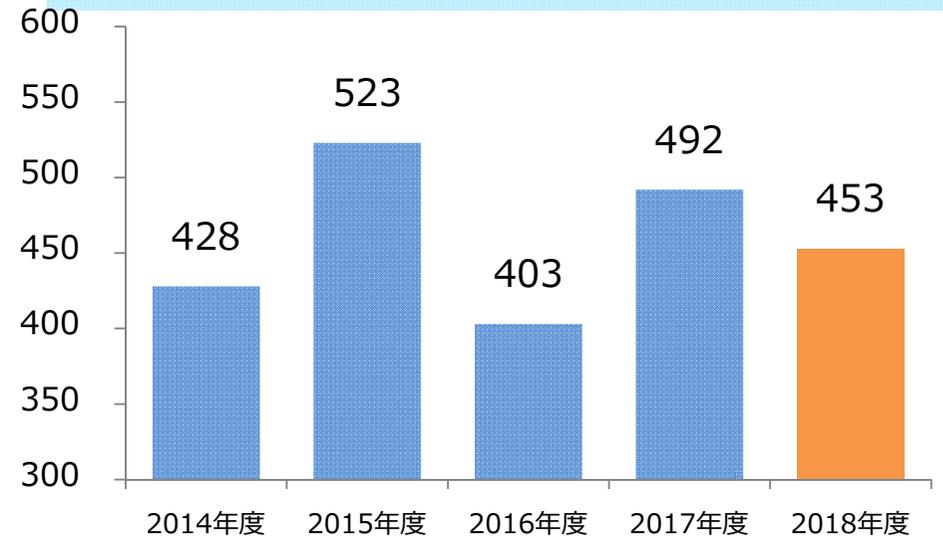
経常利益

単位：百万円



当期純利益

単位：百万円



■ 参考資料 貸借対照表



単位：百万円	2018年2月末		2019年2月末		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
流動資産	10,050	28.0%	10,227	27.4%	176
固定資産	25,880	72.0%	27,051	72.6%	1,171
資産合計	35,930	100.0%	37,278	100.0%	1,348
流動負債	21,264	59.2%	21,141	56.7%	▲122
固定負債	5,638	15.7%	6,791	18.2%	1,152
負債合計	26,903	74.9%	27,933	74.9%	1,029
純資産合計	9,027	25.1%	9,345	25.1%	318
負債・純資産合計	35,930	100.0%	37,278	100.0%	1,348

■ 参考資料 キャッシュ・フローの状況



単位：百万円

	2016年度	2017年度	2018年度	
				増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	2,486	2,088	2,485	396
投資活動による キャッシュ・フロー	▲2,858	▲3,815	▲2,735	1,079
財務活動による キャッシュ・フロー	612	1,713	672	▲1,040
現金及び現金 同等物期末残高	696	682	1,104	421

■ 参考資料 主要財務指標



	2016年度	2017年度	2018年度
総資産経常利益率	4.1%	3.6%	3.7%
総資産当期純利益率	1.3%	1.4%	1.2%
自己資本経常利益率	15.5%	13.9%	14.9%
自己資本当期純利益率	4.8%	5.6%	5.0%
総資本回転率	3.8	3.7	3.5
売上高売上総利益率	21.7%	21.9%	22.1%
売上高営業利益率	1.1%	1.0%	1.0%
売上高経常利益率	1.1%	1.0%	1.1%
自己資本比率	26.5%	24.9%	24.8%

■ 参考資料 販管費



販管費

※単位:百万円

	2017年度		2018年度			増減額
	金額	売比	金額	売比	昨比	
人件費	14,227	11.5%	14,721	11.5%	103.5%	494
販促費	3,131	2.5%	3,137	2.5%	100.2%	5
設備費	8,689	7.0%	8,890	7.0%	102.3%	197
一般費	1,752	1.4%	1,813	1.4%	103.7%	65
合計	27,801	22.4%	28,563	22.4%	102.7%	762

設備投資

※単位:百万円

	金額		昨比	増減額
	2017年度	2018年度		
設備投資	5,159	2,896	56.1%	-2,263

